

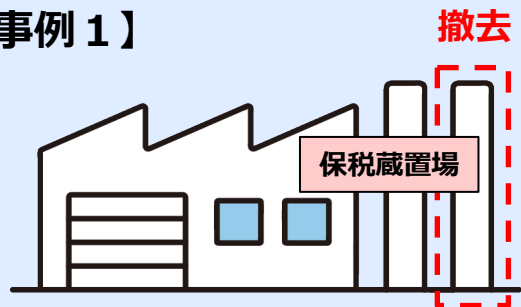


～工事等に関する非違～

- 保税蔵置場における貨物管理等に影響を及ぼす工事を行う際は、**あらかじめ**税関への届出が必要です。（関税法第44条第1項）
- 保税蔵置場の貨物の収容能力（許可面積）を増加（増坪）し、もしくは減少（減坪）するときは、**あらかじめ**税関への届出が必要です。（関税法第44条第1項）

※保税工場、保税展示場、総合保税地域についても同様に届出が必要です。（同法第61条の4、第62条の7、第62条の15で準用）

【事例1】



① 倉主は、保税蔵置場のタンクを1つ撤去する工事を行ったが、事前に税関へ何ら届出をしなかった。



② 倉主は、工事完了後、撤去したタンク分の面積を減らすため、税関へ「貨物収容能力増減等の届」を提出した。

撤去した保税蔵置場内のタンク分を減坪しているけど、それ以外に税関へ届出は必要なかったかな？

なぜ手続きが必要か理解しているかな？



【事例2】



賃貸借契約書



① 取引先A社より、当社（倉主）の倉庫2階の一部（保税蔵置場）を借り受けた旨の連絡があった。



② 倉主は、取引先のA社と、2階の一部（保税蔵置場）に係る賃貸借契約書を取り交わし、何ら税関へ届けることなく、貸出した。

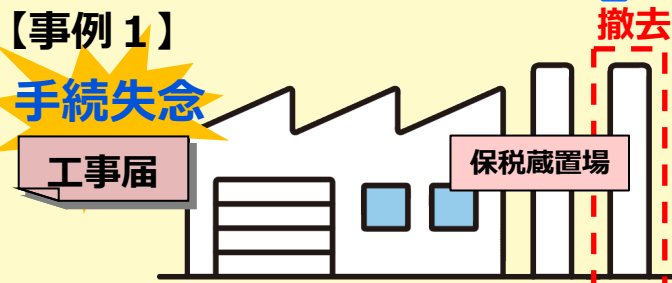
保税蔵置場の一部を他社に貸出しているけど、税関への手続きは何も必要ないかな？



～工事等に関する非違～

【事例1】

手続失念



非違内容（根拠法令）：基礎点数（※）

- ・ 無届での工事（関税法第44条等）：2点



非違に繋がった原因の一例：

- ・ 減坪届が必要なことは理解していたが、タンクを撤去するために工事届が必要なことを理解していなかった

届出が必要な工事の例は、保稅ポータル内のリーフレット「[保稅地域における工事の際の手続きについて](#)（2025年6月）」を確認してみてね！



解説

保稅蔵置場等内で外国貨物等の管理、保管に関する設備を変更する工事は、**あらかじめ税関への届出が必要**です。

【事例2】



賃貸借契約書



非違内容（根拠法令）：基礎点数（※）

- ・ 無届での減坪（関税法第44条等）：2点

非違に繋がった原因の一例：

- ・ 減坪届が必要なことを理解していなかった
- ・ 保稅蔵置場の範囲を把握していなかった

保稅蔵置場等の面積の変更は、許可手数料にも影響する場合がありますため、変更する場合は、早めに税関への連絡をお願いします！



解説

保稅蔵置場の許可は、倉主（被許可者）へ与えられておりますので、その一部を他社へ貸出す際は、**あらかじめ、その面積分の減少（減坪）について届出が必要**です。ただし、保稅蔵置場のまま、他社へ貸し出すことはできません。

※被許可者や主要な従業者等が非違に関与したと認められる場合は、点数が加算されます。

このような対策が考えられます

- ・ 保稅手続きの再確認（どのような手続きがいつまでに必要かの確認）
 - ・ 社内研修の実施（保稅業務を他の者に委託している場合は、受託企業に対しても実施）
- 届出の要否の判断に迷う場合は、最寄りの税関窓口（保稅担当）までお問い合わせください